

提出第 5 号

株式会社テンキテンキ村の経営状況を説明する書類の提出について

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 243 条の 3 第 2 項の規定により、株式会社テンキテンキ村の経営状況を説明する書類を別紙のとおり提出する。

令和 6 年 9 月 3 日提出

京丹後市長 中山 泰

決算報告書

第 32 期

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

株式会社 テンキテンキ村

京都府京丹後市丹後町竹野 3 1 3 番地の 1

# 第 1 号議案 第 32 期営業報告の件

(2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで)

## 1 現況

### (1) 事業の経過及びその成果

我が国経済は、高い水準の賃上げや投資意欲など前向きの動きが見られ、株価も高騰して経済活動の正常化が進みました。

当業界におきましても、行動制限のない自由な移動や海外からの旅行客の回復など、賑わいが戻ってきました。

このような環境の中で、コロナ後再活性化基盤整備 2 年目と位置付けて、「不快感を与えない環境の構築」「分かり易い・使い易い施設・サービスの提供」「ここにしかないモノ・ここでしかできないことをより安価で提供する」ため、施設・設備の修繕や更新（道の駅トイレ改修＝市事業が実現し、明るく清潔で近代的なトイレに生まれ変わり、大きな課題が解消）、キャッシュレス化や機械化の推進（カード等の決済、自動釣銭機）、イチ押し商品の開発（地産和牛ステーキ・地魚フライ定食・丹後ワカメうどん等）や SNS での情報発信（フォロワー数 1,269）などに努めました。

他方、土日・連休・お盆の天候に恵まれなかったこと、設備の故障による休業（碓高原ステーキハウス）・自然災害（丹後半島一周道路の通行止、能登半島地震）・道の駅トイレ改修工事による売場縮小など、事業運営にマイナスとなる大きな影響を受けました。

この結果、当期の業績は、利用者数 108,376 人（前期比 90%）、売上収入 126,809 千円（前期比 96%）、当期利益△213 千円（前期比△582 千円）と厳しいものとなりました。一方、再活性化基盤整備が着実に進められ、長く続いた縮小均衡の時代から拡大再生産への時代へと変わりつつある、と感じられる年でもありました。

事業別	売上高	施設利用者数
道の駅運営事業	99,216 千円	96,202 名
碓高原ステーキハウス運営事業	19,960 千円	4,462 名
キャンプ場運営事業	7,633 千円	7,712 名

### (2) 設備投資等の状況

当該年度において実施した設備投資等は、次の通りであります。なお、資金については自己資金を充当しました。

- ・ 本社 パソコンの更新。
- ・ 道の駅 券売機・喫茶レジ・POS レジ・ソフトクリームサーバーの更新。

西側入口ドア・客席床・厨房溝・火災報知器設備・屋根の修理。

誘導看板の設置。自動釣銭機の導入。

- ・オートキャンプ場 トイレ照明具更新。

【参考】京丹後市事業

- ・道の駅 トイレ改良。

受電用キュービクル・冷凍ストッカー・業務用レンジ更新。

- ・ステーキハウス ガスレンジ・冷蔵庫更新。外壁修理。

- ・オートキャンプ場 照明灯更新。

(3) 対処すべき課題

内外の諸情勢からみて、今後とも厳しい企業環境が予想され、「立寄りたい施設」をつくるためには、次のような課題が有ります。

施設を整える

利用したい・入ってみたい気持ちを醸成する雰囲気づくり。

特色ある商品の提供

「ここでしか」食べれない・買えない・できない体験の商品づくり。

他の施設・企業・地域との連携

関連する施設・企業・地域との協同。

運営能力の向上

企画力並びに情報発信力の向上。人材確保。

(4) 財産及び損益の状況の推移

区分	第29期 令和2年度	第30期 令和3年度	第31期 令和4年度	第32期 (当期)
利用者数	93,729名	80,329名	120,012名	108,376名
売上高	85,932千円	88,428千円	132,588千円	126,809千円
当期純利益	232千円	7,569千円	369千円	△212千円
1株当たり当期純利益	485円	15,769円	769円	△442円
純資産	13,638千円	21,207千円	21,577千円	21,365千円

(5) 主要な事業内容

事業	主要商品
道の駅運営管理事業	土産物（菓子・加工食品・加工製品） 食事（定食・丼・うどん・そば） 喫茶（コーヒー・ソフトクリーム）
碓高原ステーキハウス運営管理事業	ステーキ
オートキャンプ場運営管理事業	キャンプ区画

(6) 従業員の状況

従業員数	前期末比増減数
17名 (うち男性4名、女性13名) (うち社員5名、パート9名、季節3名)	1名減 (男性1名) (社員1名)

2. 会社の株式に関する事項

(1) 発行済株式の総数 480株

(2) 株主数 11団体

株主名	持株数	持株比率
京丹後市	432株	90.0%
京丹後市商工会	10株	2.1%
京都農業協同組合	10株	2.1%
京都府漁業協同組合	8株	1.7%
丹後地区森林組合	8株	1.7%
(一社) 京都府北部地域連携都市圏振興社京丹後地域本部丹後町支部	6株	1.3%
間人商店連盟	2株	0.4%
間人区	1株	0.2%
竹野連合区	1株	0.2%
上宇川連合区	1株	0.2%
下宇川連合区	1株	0.2%

### 3、会社役員に関する事項

#### (1) 取締役及び監査役の氏名等

氏名	地位及び担当	重要な兼職の状況
中 江 英 雄	取締役社長（代表取締役）	
蒲 田 幸 造	取締役副社長（代表取締役）	間人区長
小 倉 伸	取締役	上宇川連合区長
中 江 謙 介	取締役	鉄工業経営
長 門 弘 之	取締役	食品製造業経営
高 橋 尚 義	監査役	京丹後市商工観光部長
小 谷 和 彦	監査役	竹野連合区長

#### (2) 当事業年度に係る取締役及び監査役の報酬等の額

取締役 5 名      2,700 千円

監査役 1 名      60 千円

#### 4、計算書類

(1) 貸借対照表 2024年3月31日現在

科目	金額 (円)	科目	金額 (円)
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	21,164,033	流動負債	8,119,570
1 現金及び預金	14,321,227	1 買掛金	3,428,254
2 売掛金	1,836,257	2 未払金	1,921,847
3 商品	1,981,880	3 未払法人税等	206,000
4 原材料	758,217	4 預り金	36,952
5 未収金	2,263,012	5 預り社会保険金	618,289
6 仮払金	3,440	6 預り雇用保険金	37,928
固定資産	8,320,389	7 預り住民税	54,800
有形固定資産	7,894,434	8 未払消費税	1,815,500
1 車両運搬具	1,456,400	負債合計	8,119,570
2 工具器具備品	16,826,793	(純資産の部)	
3 減価償却累計額	△10,388,759	株主資本	21,364,852
無形固定資産	425,955	資本金	48,000,000
1 ソフトウェア	350,971	利益剰余金	△26,635,148
2 電話加入権	74,984	1 利益準備金	3,000,000
		2 その他利益剰余金	△29,635,148
資産合計	29,484,422	負債純資産合計	29,484,422

## (2) 損益計算書 2023年4月1日から2024年3月31日まで

科目	金額 (円)	
I 営業収益		
売上高		
1 飲食料売上高	43,724,098	
2 土産料売上高	54,031,679	
3 販売手数料売上	1,502,525	
4 自販機売上高	1,292,130	
5 使用料売上高	7,486,000	
6 その他売上高	18,640,000	
7 雑収売上高	<u>132,861</u>	126,809,293
II 営業費用		
売上原価		
1 期首商品棚卸高	2,553,009	
2 飲食料仕入高	17,922,449	
3 土産料仕入高	<u>35,202,173</u>	
合計	55,677,631	
4 期末商品棚卸高	<u>2,740,097</u>	52,937,534
売上総利益		73,871,759
販売費及び一般管理費		<u>△80,292,316</u>
営業利益		△6,420,557
III 営業外収益		
1 受取利息	254	
2 受託料	4,309,296	
3 雑収入	<u>2,110,206</u>	6,419,756
IV 営業外費用		
1 雑損失	<u>5,671</u>	5,671
経常利益		<u>△6,472</u>
税引前当期純利益		△6,472
法人税等		<u>206,032</u>
当期純利益		<u><u>△212,504</u></u>

## 販売費及び一般管理費明細

2023年4月1日から2024年3月31日まで

科目	金額 (円)	
1 役員報酬	2,760,000	
2 給与手当	17,706,143	
3 賞与	1,345,475	
4 雑給	19,274,849	
5 法定福利費	4,930,854	
6 福利厚生費	752,915	
7 広告宣伝費	442,466	
8 旅費交通費	1,869,582	
9 接待交際費	0	
10 車両費	25,355	
11 通信費	317,954	
12 水道光熱費	6,707,096	
13 租税公課	11,000	
14 消耗品費	2,141,363	
15 修繕費	990,671	
16 保険料	111,070	
17 支払手数料	4,938,481	
18 減価償却費	1,637,082	
19 リース料	542,168	
20 装備衛生費	4,101,913	
21 燃料費	171,280	
22 負担金	385,700	
23 施設管理料	4,201,598	
24 会議費	35,070	
25 販売促進費	113,762	
26 賃借料	292,635	
27 外注費	506,929	
28 雑費	90,005	
29 消費税等	3,888,900	80,292,316

(3) 株主資本等変動計算書 2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位：円)

株主資本

資本金 当期首残高及び当期末残高 48,000,000

利益剰余金

利益準備金 当期首残高及び当期末残高 3,000,000

その他利益剰余金

繰越利益剰余金 当期首残高  $\Delta 29,422,644$

当期変動額 当期純損失 212,504

当期末残高  $\Delta 29,635,148$

利益剰余金合計

当期首残高  $\Delta 26,422,644$

当期変動額  $\Delta 212,504$

当期末残高  $\Delta 26,635,148$

株主資本合計

当期首残高 21,577,356

当期変動額  $\Delta 212,504$

当期末残高 21,364,852

純資産合計

期首残高 21,577,356

当期変動額  $\Delta 212,504$

当期末残高 21,364,852

(4) 個別注記表 2023年4月1日から2024年3月31日まで

1. この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。

2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① たな卸資産の評価基準及び評価方法

・ ・ ・ 個別法による原価法

・ ・ ・ 個別法による原価法に基づく低価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産 ・ ・ ・ 定額法

② 無形固定資産 ・ ・ ・ 定額法

(3) 有形固定資産の減価償却累計額 10,388,759 円

減価償却は間接法にて計上

(4) 収益及び費用の計上基準

収益は実現主義、費用は発生主義

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込み方式により処理しています。

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式の種類及び総数に関する事項。

発行済株式

普通株式（発行済株式）

前期末株式数（発行済普通株式） 480 株

当期増加株式数（発行済普通株式） 0 株

当期減少株式数（発行済普通株式） 0 株

当期末株式数（発行済普通株式） 480 株

4. 1株当たりの情報に関する注記

(1) 1株当たりの純資産額 44,510 円 10 銭

(2) 1株当たりの当期純利益金額又は当期純損失金額 △442 円 71 銭

# 監査報告書

2024年5月21日

株式会社テンキテンキ村  
取締役会 御中

監査役 高橋 尚義

監査役 小谷 和彦

私たち監査役は、2023年4月1日から2024年3月31日までの第32期事業年度の3月31日現在の取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

各監査役は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めると共に、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社および主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその付属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその付属明細書について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告書の監査結果

- 一 事業報告及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその付属明細書の監査結果

計算書類及びその付属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

## 第 3 3 期事業計画

株式会社テンキテンキ村

再活性化計画（立ち寄りたい施設づくり）推進最終年度（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）の基本方針と収支計画であります。

なお、本件につきましては、取締役会で決定しております。

## 1 基本方針

我が国の経済活動は、コロナ前の状態に戻りつつあるものの、株価の上昇・賃金の引上げ・訪日客の回復など明るい材料が顕在化する一方で、輸入品価格の高騰が企業活動や家計を圧迫し、厳しい状況が続くものと思われま

す。そのような情勢の中で海外旅行を手控え、国内旅行を選択する傾向は続くと推測されます。我が社は再活性化計画最終年度の今期、一押し商品の開発と情報発信に力を注ぎ、観光関連業界とも連携して下記の事業を進め、コロナ前の利用者数127千人の回復、売上152,000千円、純利益5,500千円の達成を目指します。

### (1) 施設を整える

①道の駅：土産物売り場レイアウト改良。食事用スペース一部改装。

東西入口風除室の改装。

②オートキャンプ場：脱衣所の照明器具取替。

③ステーキハウス：客席ホールの床改修。

客席ホール・廊下・トイレの窓枠改修。

### (2) 特色ある商品の提供

①地産和牛（ステーキ・ハンバーグ）の定着と拡大。

②地産素材を使用した、季節ごとの商品開発。

③利用者データに基づく品揃え。

### (3) 他の施設・企業・地域との連携

①宇川温泉・スイス村とのEバイクレンタル事業の共同実施。

②一般社団法人京丹後龍宮プロジェクトとの連携。

③地産品（農産物や乾物など）の取引拡充。

### (4) 運営能力の向上

①企画及び情報発信の実践。

②能力向上研修の実施。

③人材確保。

2 収支計画 2024年4月1日から2025年3月31日まで

単位：円

I 営業収益

売上高

1 飲食料売上高	51,500,000	
2 土産物売上高	70,200,000	
3 販売手数料売上	1,400,000	
4 自販機売上高	1,400,000	
5 使用料売上高	7,300,000	
6 その他売上高	19,960,000	
7 雑収売上高	<u>240,000</u>	152,000,000

II 営業費用

1 売上原価

1 飲食料仕入高	22,000,000	
2 土産物仕入高	<u>44,900,000</u>	<u>66,900,000</u>

売上総利益 85,100,000

2 販売費及び一般管理費 84,800,000

営業利益 300,000

III 営業外収益

1 受託料	4,300,000	
2 雑収入	<u>1,100,000</u>	<u>5,400,000</u>

経常利益 5,700,000

法人税等 200,000

当期純利益 5,500,000

販売費及び一般管理費明細

単位：円

1 役員報酬	2,800,000	
2 給与手当	18,230,000	
3 賞与	1,600,000	
4 雑給	19,370,000	
5 法定福利費	4,830,000	
6 福利厚生費	1,050,000	
7 広告宣伝費	850,000	
8 旅費交通費	1,720,000	
9 接待交際費	50,000	
10 車両費	100,000	
11 通信費	360,000	
12 水道光熱費	8,130,000	
13 租税公課	50,000	
14 消耗品費	2,520,000	
15 修繕費	2,010,000	
16 保険料	200,000	
17 支払手数料	2,500,000	
18 減価償却費	2,230,000	
19 リース料	700,000	
20 装備衛生費	4,580,000	
21 燃料費	170,000	
22 負担金	390,000	
23 施設管理費	4,600,000	
24 会議費	50,000	
25 販売促進費	250,000	
26 賃借料	310,000	
27 外注費	500,000	
28 雑費	100,000	
29 消費税等	<u>4,550,000</u>	84,800,000